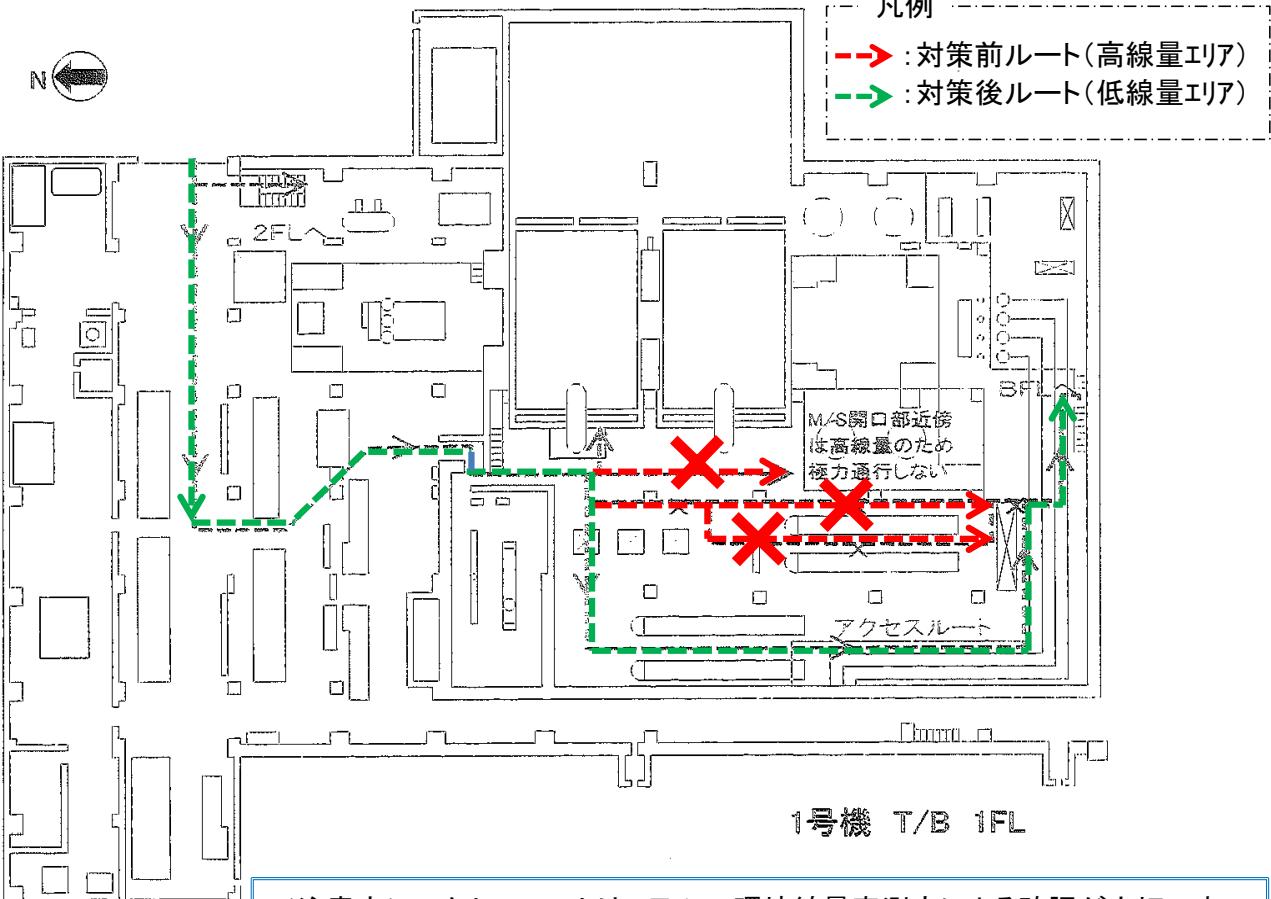


場所		分類		被ばく低減対策好事例集					
原子炉建屋内	RB	TB	7	1 時間					
タービン建屋内	TB			2 距離					
R ZONE	R			3 遮へい					
Y ZONE	Y			4 線源の除去					
G ZONE	G			5 遠隔、味 <sup>ト</sup> 化					
その他( )	Z			6 汚染拡大防止					
				7 その他					
				番号	28-10				
内 容	アクセスルートを低線量率エリアに変更								
作業部位	1号機 タービン建屋 1階								
概 略	作業場所への移動ルートに低線量率エリアを選定し、移動時の被ばくを減少。								
評価 (定性・定量)	効 果	対策前		対策後					
		被ばく線量(mSv)		※10,079					
		人工数(人日)		--					
事例詳細	※28-08~10合計の値								
対策前	作業場所に移動するルートは、高線量率の場所もあり、移動に際して被ばくが増加する可能性があった。								
対策内容	高線量率のルートを避け、低線量率エリアにアクセスルートを設定し、移動時の被ばくを減少させた。併せて、作業者への周知を図った。								
 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ : 対策前ルート(高線量エリア)</li> <li>→ : 対策後ルート(低線量エリア)</li> </ul> <p>1号機 T/B 1FL</p> <p>&lt;注意点&gt;アクセスルートは、日々の環境線量率測定による確認が大切です。</p>									